



第2回全道会員交流会集合写真

目次

- 1 第2回全道会員交流会
(全道社会福祉士のつどい)が大盛況 2～4
- 2 新人社会福祉士の紹介 5
- 3 ベテラン社会福祉士の視点 6～7
- 4 地区支部からのお知らせ 8～9
- 5 Break time～三択クイズ～ 10
- 数字で見る北海道社会福祉士会 10

— 会員の動向 (10月31日現在) —

- 総会員数 1,887名
- 入会率 13.25%
- 新入会員数 (転入含) 123名 (累計)
- 退会員数 (転出含) 4名 (累計)

発行人 出町 勇人
発行所 事務局
編集 企画総務委員会
(委員長 佐々木 祐也)

— 会員の皆様へ —

LINE公式アカウント、
公式Facebook未登録の方は
ぜひご登録ください。



LINE公式アカウント



公式Facebook (フェイスブック)
(<https://www.facebook.com/hokkaidocsw/>)



〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2.7 4階

TEL.011-213-1313 FAX 011-213-1314

メールアドレス info@hokkaido-csw.or.jp



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方にに基づき、
より多くの人に見やすく読みまちがえにくい
デザインの文字を採用しています。

【第2回 全道会員交流会（全道社会福祉士のつどい）が大盛況】

企画総務委員会 担当理事 鳥瀬 一成

10月4日（土）「第2回 全道会員交流会（全道社会福祉士のつどい）in日胆」が白老町・苫小牧市にて、日胆地区ソーシャルワーカー協会と共催で開催されました。



第1部は61名が参加し白老町総合保健福祉センター いきいき4.6にて、詩人、古布絵作家、絵本作家、アイヌ活動運動家など様々な活動をされている宇梶静江氏から「アイヌ民族の権利擁護～宇梶静江～の人生」と題した講演をいただきました。生まれ育った浦河町で貧しいながらも家族の愛情を感じた幼少期、成長するに連れて経済的格差や偏見、差別を感じたこと、東京で生活していた時の思い出など、90余年の人生をどのように生きたのか、時には笑いも交えながらの貴重なお話をたくさん伺うことができました。講演の終了後には、表紙にある参加者全員で記念撮影を行いました。



第2部はウポポイ(民族共生象徴空間)を見学しました。入り口にはゴールデンカムイ！さらにゴールデンカムイのスタンプラリーでテンションが上がる参加者のみなさん。整備され広々とした敷地内には、立派な国立アイヌ民族博物館や伝統的コタン展示などがあります。博物館の中には、アイヌの歴史、文化、暮らしなどを解説する展示物がたくさんあり、私もそうでしたが初めて来る参加者も多く、みなさん真剣に見学していました。参加者同士で一緒に見て回ったり、おみやげを選んだり、それぞれ自由に過ごしました。



白老町から苫小牧市へ移動しているうちにすっかり日は落ちていき、19時からの第3部 懇親会はなんと56名！会場は苫小牧市駅前の刺身居酒屋 なか善。企画・司会はもちろん、日胆地区支部のみなさんです。始まる前は少し緊張気味の方もいましたが、美味しい食事とお酒の力もあり、すぐにどこのテーブルでも大盛り上がり！さらにビンゴ大会では、日胆地区支部が用意した豪華景品の他、会長賞、副会長賞、日胆地区支部長賞、企画総務委員長賞というサプライズ景品も登場し、大いに盛り上がりました。



2時間はあっという間に過ぎ、喋り足りない！飲み足りない！そんな41名が2次会へ。2次会でもあちらこちらで盛り上がりました。

苫小牧の夜と会員の交流を満喫しました。（まだまだ夜はこれから！という20名が3次会へ繰り出していきました）



今回の全道会員交流会において、企画・準備、当日運営など全て担当していただき、懇親会も大いに盛り上げていただきました日胆地区支部の皆様へ厚く御礼申し上げます。

私は今回初めて参加致しました。地区支部以外に会員に知り合いが少なく、大丈夫だろうか…という不安もありましたが、そんな不安は杞憂に終わり、楽しく参加させていただきました。

来年度は十勝地区支部が担当となります。ぜひ来年も多くの参加をお待ちしております。来年は十勝でお会いしましょう！！

【新人社会福祉士の紹介】①

氏名：加藤 芽衣（26歳）
所属：道南地区支部
医療法人大庚会
函館市地域包括
支援センターときとう



現在の職場である地域包括支援センターときとうには、専門学校時代に実習でお世話になり、社会福祉士を取得後に入職しました。あっという間に3年半が経過しました。

学生の頃は、介護が必要になったら施設に入るしかないと思っていました。しかし、地域包括支援センターについて学び、本人の思いを大切に「自宅で暮らしたい」高齢者の支援を行うことを知り、社会福祉士を目指しました。

地域包括支援センターの業務では、高齢者の生活や人生に関わります。高齢者の方の価値観を大切にしながら、その人が望む生活ができるよう対応していくことの難しさを感じています。また、高齢者の一人ひとりに様々な事情や多種多様かつ複雑な困りごとを抱えている高齢者も多くいらっしゃいます。どのような方法がその方にとってベストな選択で、その方の生活にどのような変化となるか悩みながら業務にあたっています。ケース対応中はこれがベストな選択だと思い対応していますが、ケース終了後、振り返ると「もう一つの選択肢の方がよかったな」と思う時もあり、ケースから学ぶことが多々あります。

これからも尊敬する先輩社会福祉士の皆様の背中を追いかけながら、努力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

【新人社会福祉士の紹介】②

氏名：永久保 亜希（46歳）
所属：釧根地区支部
社会医療法人道東勤医協
釧路市中部南
地域包括支援センター



令和6年に社会福祉士の資格を取得し、地域包括支援センターに配属となりました。日々の業務では、改めて学ぶことが多くあり新たな立場で地域の皆さまに関わらせていただいています。

社会福祉士の勉強を始めたきっかけは、ちょうどそのころ娘の高校受験があり「じゃあ私も勉強するか!」と勢いで社会福祉士の資格取得を目指し、無事に親子そろって合格することができました。

それまでは、介護支援専門員として高齢者支援の仕事に携わり、在宅生活を続けるための支援やご家族の相談などさまざまなケースに関わってきましたが、自分には知識が足りないなぁ、制度のことがもっとわかるようになりたいなぁと思うようになり、制度や福祉全体への理解を深める必要があると感じていました。実際に包括支援センターで働いてみると、地域の方や多職種の方とのつながりが多く、学ぶことや感じるものが本当にたくさんあります。

まだまだ毎日が勉強ですが、これまでの実践で培った相談支援の力を生かしながら地域の皆さんや職員の方々に助けられながら少しずつ成長中です。

これからも笑顔で相談しやすい社会福祉士を目指して頑張っていきたいと思えます！どうぞよろしくお願いいたします。

【ベテラン社会福祉士の視点】①

氏名：小木 かおり

所属：道北地区支部



年だけはベテランの域ですが、やればやるだけわからないことが増え、年を重ねる毎にわずかな知識すら失っていく毎日に、もやもやは増えるばかりです。

省みると、穴があるならずっと入っていたいほどの様々な失敗やら恥ずかしい思いを重ねながらも、今も仕事を続けさせて頂けているのは、わからないので教えてほしいとお願いすると親切に知恵を貸して下さる方々と、これまで様々にご迷惑をおかけしつつもお赦し下さったご利用者をはじめとする皆様のおかげと感謝しています。お世話になった方すべてに届けることは難しいのですが、この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございます。

この数年、父を看取り、認知症で独居の母と、病気の夫の何やかやでフルタイムで働くことに限界を感じ、昨年春に定年退職しました。

この間、利用者の家族を経験し、仕事から（元ケアマネです）似たような場面には遭遇していたはずなのに、自分ごととなると、どうしてよいかわからずおろおろし、立場が変わると景色が変わり、相談することの難しさを味わいました。仕事であれば、わからないことや困りごとはすんなりと相談できるのですが、不思議なものです。次

は、そう遠くない未来に利用者になる身なので、少しでもこのもやもやは解明しておきたいところです。

そして、退職してものんびりする余裕はないので、就職活動をしました。その中で、子ども家庭福祉のことを知りたくなり、さわりだけでもと保育士試験に挑戦しました。謙遜でなく、覚えたと思ってもきれいに忘れてしまうので、途方にくれつつ取り組みました。実技試験では、50年ぶりくらいにピアノを弾き、その音色には癒されました。あがり症なので、鍛錬と思ってストリートピアノにも挑戦しました。おかげさまで、ぎりぎりですが玉碎せずに済みました。

いまは、今年度限りのパートタイムで、自立援助ホームで働いています。思春期の子どもたちとの関わりは、価値観のチャンネルを合わせることの難しさと、雑談力の乏しさという新たなもやもやを生んでいます。

後見活動でもいろいろな方のお世話になっています。先日は施設入所しているご本人と地方に住むご兄弟に会いに行きました。ニコニコしたり、ふくれっ面をしたり生き生きした表情がみられ、うれしいことでした。

まだまだなところばかりですが、これからもぼちぼち行きたいと思います。もうしばらくお世話になりますが、どうぞよろしくお願いします。

【ベテラン社会福祉士の視点】②

「人脈こそ宝」

氏名：後藤 律子

所属：日胆地区支部

室蘭市地域包括

支援センター憩



私は、2008年に社会福祉士を取得し、17年が経過しようとしています。

取得年月からすると「ベテラン」だと思いますが、自分がベテラン社会福祉士であると意識したことはなく、まだまだ未熟だと感じております。

現在私は、地域包括支援センターで主任介護支援専門員としての役割を担っております。

また、社会福祉士としての活動については、ぱあとなあ北海道の運営委員として6年目となります。今回の原稿依頼を受け、「私と社会福祉の関り」について振り返り、自分が大切にしている社会福祉士としての視点について考えてみたいと思います。

私が、社会福祉に興味をもったのは、高校時代のボランティア同好会の活動にあります。

施設訪問の他、町内のゴミ拾い、募金活動など社会福祉協議会への協力などに参加しその活動が、知的障害者の入所施設に勤務するきっかけとなりました。

知的障害者施設退職後は、介護支援専門員として高齢分野で働く事となりました。高齢分野には、社会福祉士が多数従事しており、関りのある事業所の社会福祉士の影響を受け、資格取得に至りました。

社会福祉士会は、生涯研修制度により、資格取得後の学習システムが構築されており、専門職としての育成が可能となっています。私は、成年後見人登録後、後見人と

しての活動を行い、最近はスーパーバイザー登録、基礎研修のファシリテーターや講師、認定社会福祉士への挑戦と、共に学びあう仲間との支えの中で現在も学習を継続しております。

去る10月4日に、北海道社会福祉士会主催の「全道会員交流会」が行われました。担当地区支部として、企画段階から関わらせていただきました。テーマはアイヌ民族の権利擁護で、基調講演、ウポポイ見学、懇親会と全道から、60名を超える社会福祉士が集まり、楽しい1日を過ごしました。全道会員交流会は2回目という事ですが、共に作り上げた時間、共有した空間は、交流という枠を超えた、密度の高さを実感し、終了後もしばらく余韻に浸っております。

また、この「全道会員交流会」に合わせて、ホームページのリニューアルとキャラクター作成を行いました。このキャラクターを見て、子どもから高齢者の方まで「あっ、社会福祉士会だ！困った時に相談できる場所だ！」と相談のシンボルになる事を目指していきたいと思います。

社会福祉士会に入るメリットがないとよく耳にしますが、生涯研修や「全道会員交流会」など経験を通して思う事は、お互いにリスペクトしあえる仲間がおり、その仲間達と一緒に成長しあう事に価値があると思います。「人脈こそ宝」であると思います。



日胆地区支部公式キャラクター「ニッタクン」

【各地区支部からのお知らせ】

【道央地区支部】

「後志ブロック会員懇談会」

日 時：12月13日（土）10時～12時

会 場：古平町地域福祉センター

ミニ講話「とある社会福祉士の生き方から
考えてみる」

講 師：古平町社会福祉協議会参事

菊地 英人 氏

懇談テーマ「社会福祉士会に望むこと、日
ごろの業務に係る情報交換」

参加申込：12月8日(月)までに申込んでさ
い。

※詳細は、道央地区支部のホームページを
ご覧ください。

この他、3月7日(土)地域包括支援セン
ター職員スキルアップ研修会、3月14日
(土)会員サロンを開催しますので、詳細が
決まり次第、ご案内しますので、参加をお
願ひいたします。

【道南地区支部】

道南地区支部では、定期に行っている、
成年後見制度事例検討会、司法と福祉との
連携勉強会を行い、定例学習会を行って
おります。その他にも社会福祉セミナーや権
利擁護セミナー、道南地区ソーシャルワ
ーカー三団体合同研修会の開催に向けて準備
を進めております。

会員の皆さまが研修会に多く参加されて
いることから、社会福祉士としての専門性
を高めるための自己研鑽に努めていると感

じております。その期待にお答えできるよ
う、会員の皆さまに有益となるよう地区支
部運営に努めて参ります。

【道北地区支部】

『研修報告』

○青年部研修（共催：名寄市地域包括支援
センター）：9月5日（金）46名

○大学生とのコラボレーション研修「実習
生・指導者のための社会福祉士『職業倫
理』について」：9月8日（月）18名

○司法分野における社会福祉士の関与の在
り方を考える学習会～応用編～：11月1
日（土）49名（内オンライン16名）

○北海道社会福祉士会道北地区支部地域包
括支援センター支援委員会・上川北部ブ
ロック研修（共催：名寄市地域包括支援
センター）：11月12日（水）73名

○道北ぱあとなあ勉強会：11月15日（土）
20名

【オホーツク地区支部】

10月17日にオンラインで会員学習会を
開催しました。認知症の方の医療受診で苦
慮したこと、社会福祉士としてどのように
対応していくかを日頃の実践を交えて座談
会形式でお話していただきました。多くの
方が受診拒否の場面に遭遇した事があり
困ったという意見がありました。社会福祉
士として関わっていく際には寄り添う姿勢
や傾聴の大切さ、治療を受けることで守ら
れる生活もあるという話が出ていました。

活発な意見交換がなされ有意義な学習会でした。

12月に権利擁護セミナーの開催を予定しております。多くの方のご参加をお待ちしています。

【日胆地区支部】

まず初めに、「2025年度全道会員交流会」にご参加・ご協力いただきました皆さまに、心より感謝申し上げます。白老町での開催には多くの方々にご参加いただき、多文化共生や人権への理解を深める貴重な学びの時間となりました。

1. セミナー・研修会

8月30日（土）、室蘭市生涯学習センターきらんにて「社会福祉セミナー」を開催しました。テーマは「～『終活』を考える～」、講師に一般社団法人就活カウンセラー協会の荒盛一氏をお招きし、オンライン6名、会場25名の計31名が参加しました。

2. 役員会

1～2か月に1回定例で役員会を行っていますが、主な内容は全道交流会、成年後見支援センターとの連携、各委員会報告などが行われました。役員間の意見交換も活発に行われ、今後の活動に向けた方向性が確認されました。

日胆地区支部では研修・学習の充実とネットワークの強化を目的として、地域に根ざした活動を継続しております。今後も皆さまと連携しながら、より一層地域福祉の推進に努めてまいります。

【十勝地区支部】

8月29日に、帯広市内で久々の対面にて、ソーシャルワークカフェを開催しました。名刺交換会というテーマで、地域の連携を強化するという目的だったこともあり、20名参加の大盛況となりました。会員数増加にもつながるよう、今後もこのような取り組みを継続していきたいと思います。10月13日には、毎年恒例の「よろず相談会」に、十勝地区支部として参加しました。来年度は担当幹事団体になることもあり、今から気合いを入れています。引き続き十勝地区支部は、皆で団結し協力しながら取り組んでいきます。

【釧路地区支部】

去る2月に社会福祉士試験を突破し、晴れて社会福祉士として一步を踏み出した新規会員を仲間として歓迎させていただく交流会を、釧路地区と根室地区分かれて企画しています。根室地区では11月8日に非会員の勧誘を含めた形で、普段顔を合わせる機会の少ない社会福祉士同士、福祉職を志した原点や仕事に対する想いを語り合いました。また、釧路地区では11月28日に社会福祉士会への理解を深めていただけるよう、第1回研修会を兼ねて役員の紹介や各委員会の説明を行います。どちらの地区でも盛会を期待しています。

【Break time ～三択クイズ～】

Q. 第2回全道会員交流会（全道社会福祉士のつどい）の開催支部はどこでしょうか？

- ①オホーツク地区支部 ②日胆地区支部 ③十勝地区支部

正解者の中から抽選で3名様に、3千円相当の景品をプレゼントします。

回答及び当選者は次号に掲載します。

【応募方法】

応募フォームまたはメール・FAX・郵送でご応募ください。

応募フォームはこちら⇒<https://forms.gle/ySutw2NM78CTGpSZ7>

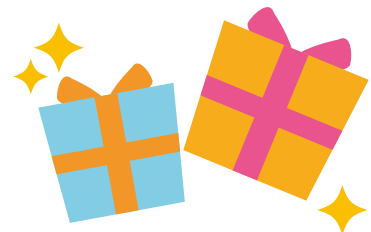


<メール・FAX・郵送の場合>

件名を「懸賞について」とし、①氏名 ②会員番号 ③答え ④本誌の感想などを記載しご応募ください。

応募締切：2025年12月22日(月) ※消印有効

応募先：北海道社会福祉士会事務局（表紙に記載）



【数字でみる北海道社会福祉士会（北海道DWA T編）】

32名

北海道DWA Tに登録している北海道社会福祉士会員は、32名です（2025年11月現在）

2025年度から北海道DWA Tの事務局を北海道から受託し、これまで以上に災害に対する役割が大きくなるものと思われます。

2025年12月27日（土）には、2025年度災害支援研修会が開催されます。

詳しくは、ホームページの『研修・講習』からご覧ください。